

令和6年度松山東高校通信制 前期卒業証書授与式 式辞

ようやく秋が感じられるようになった9月の、この佳き日に、令和6年度 愛媛県立松山東高等学校通信制課程の卒業証書授与式を挙行できますことは、我々教職員一同、この上ない喜びです。

卒業証書を授与いたしました卒業生の皆さん、おめでとうございます。いろいろな思いを持って本校通信制に入学され、今日まで頑張った皆さんの卒業をうれしく思うとともに、皆さんの旅立ちを、少し寂しく感じているところです。

皆さんがレポートやスクーリングに地道に取り組み、見事、卒業を迎えるまでには、いろいろな困難があったことと思います。それは、人間関係のこともあれば、体調のこと、学習に関することもあったかもしれません。8月に実施した生活体験発表会は、本当に胸を打つすばらしいものになりましたが、9月の友垣通信には、発表をした生徒や、発表を聞いた生徒から、次のような感想が寄せられました。

「自分の過去を思い出すことはつらかったけれど、友垣や先生方の前で、自分の気持ちを伝えることができ、とてもよい経験をさせていただいた。」

「過去を振り返ってそれを糧とし、成長している皆さんをすごくカッコいいと思った。」

「一度挫折したり、心に深い傷を負ったりした人間が、自分の望む自分になれる可能性がある通信制は、とてもよい環境だと思う。」

この感想でもわかるとおり、通信制で学ぶ皆さんは、決して一人ではありません。気持ちを分かってくれる、共感してくれる友垣がいます。「ひとりじゃないんだ、がんばろう。」この言葉は、もう50年以上にわたって、本校の通教生を励ましてきた言葉ですが、皆さんも、この言葉に励まされて通教生活を送って来られたのではないかと思います。心を交わし合った友垣、心に寄り添ってくださった先生方、そして、温かく見守ってくださった御家族、そういった方々との交流により、皆さんは、豊かな人間性を身に付けてくれました。身の回りにいる人やお互いを思いやる人間としての優しい心、それが、皆さんを成長させ、皆さんの未来を明るく照らしてくれるものと思います。

保護者の皆様、本日のお子様の御卒業、誠におめでとうございます。保護者の皆様には、これまで、様々な御苦勞や御心配があったことと思います。このたびのお子様の御卒業に当たり、これまで、お子様を支えてこられました皆様に、改めて敬意を表しますとともに、心からお喜びを申し上げます。

卒業生の皆さん。私は、皆さんと同じときを、松山東高校で過ごせたことを、本当にうれしく思っています。卒業おめでとう。皆さんは、私たち教職員にとって、また、地域や社会にとって、かけがえのない存在です。

皆さんの今後の成長と健康、御活躍を心からお祈りし、式辞といたします。

令和6年9月30日

愛媛県立松山東高等学校長 沖田浩史